

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

☐ 最高教育理念

「澄みゆく心」「かがやく志」の育成

☐ 校 訓

克己 進取 礼節

☐ 教育目的

未来を創造し、たくましく生き抜く力の育成

☐ 令和4年度 単年度目標

○ 課題意識を持ち、学び合い、協働して高め合う姿

○ 折り合いをつけ、時と場に応じて正しく判断し、行動する姿

○ 多様な価値観を認め、互いに尊重し合い、共に助け合う姿

以上3つの姿の実現

☐ めざす子ども像

〔Ⅰst ステージ〕

○ やればできるという自信あふれる子ども

○ いけないことを「いけない!」といえる子ども

○ 自分大好き、友だち大好き、なかよく遊ぶ子ども

〔Ⅱnd ステージ〕

○ わからないことを克服しようと努力する子ども

○ 下級生を思いやり見守る子ども

○ 協力してやり遂げる子ども

〔Ⅲrd ステージ・卒業時〕

○ 挑戦的に学ぶ姿の実現

○ 卑怯を許さない姿の実現

○ つながりを喜びとする姿の実現

☐ めざす教職員像

○ 「めざす子ども像」の実現に向けて、自らの立場における明確なビジョンを持ち、主体的に学校経営に参画する教職員

○ 課題解決に向けて、自らのスキル向上に取り組む教職員

○ 愛情と慈しみの心で子どもたちに接し、社会に貢献できる生徒の育成という使命を自覚する教職員

☐ めざす学校像

○ 小中一貫校の特性を最大限に活用し、主体的にカリキュラムマネジメントに取り組む学校

○ これからの社会を支える有為な人材を輩出できる学校

2 学校経営方針

1 基本方針

義務教育学校へ移行したことを契機とした取組が定着しつつあり、その成果と課題を見取っているところであるが、施設一体型小中一貫校の特色が最大限に発揮されるよう、引き続き、9年間を見通した教育活動を推進する。

また、短期的な見取りの中で、逐次カリキュラムの改善を図る。教職員の年齢構成が二極化する中で、経験年数の浅い教職員にも、中核的な役割を担ってもらうことになるが、各自が自らの力量や立場、強みや弱みを認識し、教職員一人一人が主体的に本校の課題解決に挑戦することを期待するものである。

これらの取組が保護者・地域の方にもご理解いただき、信頼ある学校となるよう情報発信に努める。

2 重点項目

1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める。また、9年間の一貫した学びを実現するために、学びの連続を図るカリキュラムの構築に向けて、単元の系統を意識した授業づくりについて研究を進める
2. 授業改善・働き方改革に資するよう、GIGA端末の活用実績を蓄積し、その有効活用についての研究を進める。
3. 各種調査の結果や質問紙・アンケート・学校評価などの分析により児童生徒の変容を逐次確認、共有し、本校が抱える教育課題を明確にする。その上で、学習に遅れの見られる児童生徒が、自ら学ぶ喜びを感得できるよう、研究主任を中心として組織的に取り組む。また、児童生徒の状況に鑑み、適切に家庭学習が進められるよう手立てを施す。
4. より良い集団の形成を図る視点から、あらゆる教育場面において「思考⇒判断⇒行動」のプロセスを踏まえた活動を提供することにより、主体的かつ協働的な自治集団づくりを行う。
5. 自他を尊重し、主体的に判断するとともに、夢や目標に向かって、自分の道を切り拓いていけるよう、自己指導力を高める。
6. 日々の観察や情報収集を通して子どもたちの困りを的確に把握し、積極的な支援を図るとともに、自主的な活動や自己実現を保障するために、児童生徒会活動の活性化を進める。
7. 児童生徒の生活のあり様を把握し、健康増進や「生命」を大切にする教育を推進する。
8. 「目指す子ども像」「目指す教職員像」「目指す学校像」を達成するために、報告・連絡・相談を密にする中で教職員の意識改革を図るとともに、ミドルリーダーを中心とした創造的、組織的な学校運営を推進する。
9. 「1 in 2 out」を原則に、行事の精選をはじめとする教育活動の見直しを進め、義務教育学校ならではの強みを生かした教育を提供する。